

従業員一人ひとりがCSRを推進します  
そして、ステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴し、当社グループの成長、さらには従業員の成長につなげるという好循環を生み出していきます

## CSRの推進

近年、社会的責任(SR)に関する国際規格の策定が進むなど、世界的にCSRへの関心が高まっています。また当社グループも、CSRを果たし、お客さまをはじめ地域社会、株主・投資家、ビジネスパートナーなどステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴することが、持続的な成長を遂げていくための基盤となると考えています。

そこで、当社グループは、従業員一人ひとりがCSRの推進に主体的・前向きに取り組むことができるよう、社内環境の整備を図っています。

具体的には、2004年3月、6つの行動原則からなる「関西電力グループCSR行動憲章」を策定し、さらに2005年5月には、グループの従業員一人ひとりがこれを自らの行動として実践できるよう「関西電力グループCSR行動規範」を明示しました。

また、推進体制として、社長を議長とする「CSR推進会議」を設置するとともに、職場ごとに「CSRキーパーソン」を選任し、彼らへの研修を通じて全従業員への啓発活動を展開しています。

当社グループは、こうした活動を通じて、従業員一人ひとりがCSRを推進しています。そして、ステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴することで、従業員一人ひとりのやる気・やりがいを引き出して成長を促し、それがまたいっそう信頼を高めていくという好循環を生み出していきます。

### 関西電力グループCSR行動憲章

#### CSR行動原則

1. 商品・サービスの安全かつ安定的なお届け
2. 環境問題への先進的な取り組み
3. 地域社会の発展に向けた積極的な貢献
4. 人権の尊重と良好な職場環境の構築
5. 透明性の高い開かれた事業活動
6. コンプライアンスの徹底



CSRレポートは以下のサイトからダウンロードいただけます  
<http://www.kepco.co.jp/corporate/csr/report.html>

## 電力を安全かつ安定的にお届けするために

### ●大切な人のための安全——安全文化の再構築

安全文化は当社グループの事業活動の根幹であり、その再構築は最重点課題です。美浜発電所3号機事故の反省はもとより、当社グループの従業員、委託人・協力会社のみなさま、地元のみなさまなど、大切な「人」のための安全が基本であると肝に銘じ、一人ひとりの安全意識が自然と行動に現れてくるような組織風土を醸成していきます。

とりわけ、原子力発電所においては、安全文化の再構築を着実に進めていくために、安全文化を評価する仕組みを導入します。これにより、組織や人の意識・行動について、改善を要する課題や良好事例等を明らかにし、安全文化の状況を把握するとともに、より高い水準を目指し、改善を促していきます。

### ●技術・技能の維持・継承

電力をお客さまに安全に安定してお届けするためには、発電や送電、配電などの設備や機器を365日、安全・安定的に運転し、万一の事故や災害に迅速に対処する従業員の確かな技術や技能が不可欠です。

当社は、こうした電気事業固有の高度な専門技術・技能の維持・継承を図るとともに、従業員がやる気・やりがいを持って業務に従事できるような環境を整備することを目的に「専門技術・技能者」制度を導入するなど、制度や体制の充実に力を注いでいます。



発電所のタービン点検作業



無限の可能性を拓く〜かんでんエルハート〜



障がい者アート公募展「かんでんコラボ・アート21」

### ●経営資源の着実な投入

設備面においても、安全・安定供給のために必要な経営資源を着実に投入していきます。とりわけ、経営の基軸となる原子力においては、安全・安定運転を継続するため、高経年化対策や耐震裕度向上対策などの工事を着実に実施していきます。

## 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

当社グループは、地域に密着した事業者として、地域の発展なくしては自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取組みを推進しています。また、地域社会のお役に立ちたいという従業員一人ひとりの思いを形にするため、各事業所では地域と連携して、環境美化活動や地域イベントへの運営協力など、地道な活動を展開しています。

2008年3月期の具体的な取組みとしては、「第11回IAAF世界陸上2007大阪大会」への協力が挙げられます。非常事態に備え、技術系従業員が会場に待機し、競技場周辺の設備を点検するなど停電防止対策を行うとともに、選手村や関係者が宿泊するホテルの電力の安定供給に努めました。また、多くの従業員がボランティアスタッフとしてこの大会に参加しました。

その他、関西で盛んな学生スポーツのひとつであるアメリカンフットボールへの協賛、障がい者の芸術活動を応援するための障がい者アート公募展(かんでんコラボ・アート21)の開催、関西地域の文化振興活動のひとつとしてクラシックコンサートの開催など、地域社会への貢献活動に取り組みました。

当社グループは、電力の安全・安定供給で、そしてスポーツや文化振興でも、地域社会のみなさまのお役に立ちたいと考えています。

## 人権の尊重と良好な職場環境の構築

当社グループは、「人権の尊重」を国際的な合意に基づく重要な責務であると認識し、グループの事業活動に関わるすべての人々にとって、差別のない、安全で働きやすい職場の確保に努めています。

その一例として、障がいのある方の雇用については、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社「かんでんエルハート」を設立するなど雇用を積極的に進め、障がい者雇用率は、2008年6月時点で2.11%と継続的に法定雇用率1.8%を達成しています。今後も、障がいのある方の自立と社会参加を目的として、雇用の促進に努めていきます。

## コンプライアンスの徹底

当社グループは、「企業倫理の確立」と「法令など社内外のルールの遵守」を、企業が社会に存在し続けるために果たさねばならない責務であり、確実に実践すべき課題と位置づけています。

しかしながら、当社発電設備に関するデータ改ざんや必要な法令手続きの遺漏など、不適切な取扱いにより、2007年5月、経済産業省と国土交通省から行政処分を受けました。当社は、これを真摯に反省し、法令に基づく手続遺漏防止体制の整備とともに、コンプライアンス意識の徹底に努めるなど、再発防止対策を着実に実施しています。特に、過去から慣習的に行われていることであっても、コンプライアンス上疑問を感じたことについては、一人ひとりが勇気を持って正していくように組織風土にまで踏み込んだ取組みを行っています。